

平成26年9月29日

**第6回 がん診療連携拠点病院共催市民講演会のお知らせ**

広島大学病院、県立広島病院、広島赤十字・原爆病院、広島市立広島市民病院、広島市立安佐市民病院共催の「第6回 がん診療連携拠点病院共催市民講演会」を下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

なお、入場無料、先着500名様までとなっております。

記

- 日時：平成26年10月18日（土）  
13時30分～15時45分（12時30分受付開始）
- 会場：西区民文化センター（広島市西区横川町新町6-1）
- テーマ：がんと療養生活  
—第1部—  
「がん相談支援センターを知っていますか」  
広島市民病院 がん看護専門看護師 仁井山 由香  
「父の闘病生活で感じたこと」  
患者家族 丸本 貴美子  
「大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを乗り越えて～」  
よつばの会 代表 原 千晶  
—第2部—  
「パネルディスカッション・事前質問への回答」  
【司会】  
広島市立安佐市民病院 副院長 平林直樹  
広島県健康福祉局がん対策課長 金光義雄

■申し込み

下記まで①お名前②住所③連絡先を明記のうえ 10月10日(金)までに、ハガキ、FAX、WEB 又は Eメールでお申し込み下さい。当日必要となる参加証をお送りします。

【お問い合わせ先】

広島市立安佐市民病院 医療支援センター・総合相談室  
TEL：082-815-5211 FAX：082-297-5023  
Eメール：gan-hiroshima@wfamp.com

# 第6回 がん診療連携拠点病院共催市民講演会

## 知ろう 学ぼう

入場無料  
 先着 500名様  
会場の都合上  
 先着 500名様を超えるとお断り  
 させていただきます

これでいいんだ!!

### がんと 療養生活



#### — 第1部 —

「がん相談支援センターを知っていますか」

広島市民病院 がん看護専門看護師 仁井山 由香

「父の闘病生活で感じたこと」

患者家族 丸本 貴美子

「大切にしたい自分の体 ～2度の子宮がんを乗り越えて～」

よつばの会 代表 原 千晶

#### — 第2部 —

「パネルディスカッション・事前質問への回答」

【司会】

広島市立安佐市民病院 副院長 平林 直樹 ・ 広島県健康福祉局 がん対策課長 金光 義雅

#### 原 千晶

1974年 北海道帯広市生まれ。  
 1995年度クラリオンガールとして芸能界デビューその後、TV、雑誌、ドラマなどで活動。  
 2005年 30歳の時に子宮頸がんを発症。医師から子宮全摘を勧められるが、本人の意思により子宮を温存。  
 2009年 年末に再度子宮にがんが見つかる。  
 2010年 1月の手術、2月より抗がん剤治療を行う。  
 2011年 7月婦人科がんを経験した女性の会「よつばの会」設立。以降、自身の体験をもとに各地講演活動、子宮頸がんの啓発活動にも積極的に関わっている。現在、TBS「ひるおび」火曜コメンテーターなどTVにも出演中。

市民の皆様からのご質問に  
 答えします！

時間の都合上、全ての質問にお答えできない  
 こともありますので、ご了承ください。

日時 **10月18日(土)**  
 13時30分～15時45分 (12時30分受付開始)

会場 **西区民文化センター**  
 〒733-0013 広島市西区横川新町 6-1 TEL :082-234-1960

#### お申込方法

下記まで①お名前②住所③連絡先を明記のうえ、**10月10日(金)**  
 までにハガキ・FAX・WEB・Eメールにてお申し込みください。  
 参加証をお送りします。(複数の場合は全員のお名前・住所・連絡先を明記ください)  
 ※当日参加証が必要ですので、忘れずにお持ちください。

- ハガキ 広島市立安佐市民病院 医療支援センター・総合相談室  
 〒731-0293 広島市安佐北区可部南 2丁目 1番 1号
- FAX 082-297-5023
- WEB <http://gan-hiroshima.wfamp.com>
- Eメール [gan-hiroshima@wfamp.com](mailto:gan-hiroshima@wfamp.com)



主催：広島大学病院 県立広島病院 広島赤十字・原爆病院 広島市立広島市民病院 広島市立安佐市民病院  
 後援：広島県 広島市 広島市医師会 安芸地区医師会 安佐医師会 山県郡医師会 安芸高田市医師会  
 広島市歯科医師会 広島市薬剤師会 広島県看護協会